



果樹特報 No.2

令和2年 3/17号

J A中野市営農センター

J A中野市りんご・もも部会

今回の内容：ふじ開花過去最速?! 黒星病感染要注意!

2020 生育予想 発芽：3/20頃 展葉 4/1頃 開花 4/15 満開 4/20 *過去最速で進む可能性大

生育は大きく前進化しており、ふじの開花は全域で 4/15 前後と予想されます。生育の南北差も無い状態です。このような年は黒星病の早期感染・拡大が非常に心配されます。薬剤散布は平年より 2 週間以上早い意識のなかで進めてください。

4 月初旬の定期散布

散布時期：4/1～5 日頃 *散布日は現時点の予想です。生育の進みで前後します。

散布薬剤：水 100ℓ

展着剤（ササラ） 50ml *ハイテンパワー10,000 倍も可

劇ベフラン液剤 25 1000ml（前日・3回）

対象病害虫：黒星病

10a 当り散布量：400ℓ

本年から機能性展着剤ササラを通年使用します。ササラは薬液が葉裏（毛じ間）によく広がり、散布後の乾きも早くなる効果があります。

① 【散布目安】 展葉 3 日後

② 【注意】 ベフラン液剤は劇物です。購入の際は印鑑をお持ちください。

③ 【うどんこ病対策】 コロナフロアブル 400 倍を加用する。

【4 月初旬の定期散布】

散布日：4 月 日

散布量：ℓ

4 月上中旬の【黒星病】特別散布 *前回から概ね 7～10 日後

散布時期：4/8～12 頃 *散布日は現時点の予想です。生育の進みで前後します。

散布薬剤：水 100ℓ

展着剤（ササラ） 50ml *ハイテンパワー10,000 倍も可

パスポート顆粒水和剤 100g（45 日前・3回）

対象病害虫：黒星病

10a 当り散布量：400ℓ

① 【散布目安】 展葉 5 枚目頃

② 【代替】 パスポート顆粒水和剤に代えて、パスポートフロアブル 1,000 倍（45 日前、3 回）でもよい。

③ 【うどんこ病対策】 コロナフロアブル 400 倍を加用する。

④ 黒星病防除強化特別散布のため、未購入の場合は予約価格対応します。

【4 月上中旬の黒星病特別散布】

散布日：4 月 日

散布量：ℓ

開花期の定期散布 *ふじの花が 1～2 輪咲いた時期

散布時期：4/15～20 頃 *散布日は現時点の予想です。生育の進みで前後します。

散布薬剤：水 100ℓ

展着剤（ササラ） 50ml *ハイテンパワー10,000 倍も可

オルフィンフロアブル 25ml（7 日前、3 回）

サムコルフロアブル 10 20ml（前日、3 回）

対象病害虫：黒星病・うどんこ病・ケムシ類・ハマキムシ類

10a 当り散布量：400ℓ

① 【散布目安】 蕾のセパレート状態（中心花と側花の蕾が離れた状態）～ふじの花が 1～2 輪咲いた時期

② 【訪花昆虫保護】 指定薬剤以外は使用しない。

③ 【代替】 サムコルフロアブルに代えて、フェニックスフロアブル 4,000 倍（前日、2 回）でもよい。

【開花期の定期散布】

散布日：4 月 日

散布量：ℓ

【暖冬対策・人工授粉のポイント】等は次項をお読みください。

【黒星病の発生生態と生活史】（長野県果樹指導指針より）

① 発生生態

本病菌は被害落葉・芽りん片・枝病斑で越冬するが、量的に重要なのは被害落葉である。被害落葉上では冬期間に偽子のう殻が形成され、早春に成熟し発芽期頃から子のう胞子が飛散して感染が始まる。子のう胞子の感染適温は15～20℃で、この温度での潜伏期間は約10日である。

一次感染は開花前後がピークとなり、落花20日後頃まで続き、その後は病斑上に形成された分生胞子により二次感染が続く。菌糸の発育適温は16～24℃で、分生胞子の発芽適温は15～25℃である。

感染の条件として降雨と密接な関係があり、雨が多い時また葉がぬれている時間が長い時に感染しやすい。温度10～20℃で感染しやすく1～2週間で病斑が現われる。

② 生活史



参考：暖冬対策他

生育が非常に早かった年度：H14 H16 H28 H30

品目名	H14	H16	H28	H29	H30	R1	R2 予想
もも 白鳳開花	4/9	4/15	4/10	4/19	4/12	4/20	4/5？
りんご ふじ開花	4/19	4/22	4/21	5/1	4/21	4/30	4/15？
巨峰 発芽	4/15（果樹試）	4/20	4/21	4/28	4/21	4/28	4/13？

1. 果樹
- 【せん定】
- 核果類：剪定終了次第、速やかに休眠期防除に入ってください。
 - りんごふじ等：凍霜害により結実不良が心配される。ついては、花芽は多めに残す。
 - 凍害対策：切り口からの枯れ込みが心配される。傷口の保護等に努める。（トップジン M ペースト等の塗布）
- 【春先の管理】
- 休眠期防除：発芽前の防除適期を逸しないように注意する。**
 - 春先の極度の乾燥が予想される。適宜かん水に努め初期成育を促す。
 - 防寒資材（ワラ他）については1回目の薬剤散布直前まで外さない。
 - 凍霜害対策：燃焼資材や防霜ファンの点検を早めに行う。＊詳細は裏面参照
 - 結実確保対策：人工授粉を徹底する。例年より回数を多めに実施する。共同開葯事業並びに販売花粉等をご利用ください。

【ふじの人工授粉のポイント】

- ① 人工授粉を実施する時は、気温・湿度・天候等の授粉環境を複合的に考慮する。⇒ 降雨・強風・極端な低温（最高気温 20℃以下）・極端な高温（30℃以上） の日はできるだけ避ける。
- ② 開花始めから満開期までが授粉能力が高い ⇒ 開花始めから満開までの早い時期に実施すると結実率が高まる。
- ③ 授粉後 3 時間は極端な低温とならないような日・時間帯を選択する。
- ④ 授粉後 3 時間以内に降雨があった場合は再度やり直す。